

# 目次

## 1. Manus

- 公式デモ

## 2. Manusの技術スタック

- 使用モデルと構成
- X (Twitter) での情報

## 3. Claude MCP (Model Context Protocol)

- 概要と仕組み
- 最新の動向

## 4. AIエージェント関連技術

- browser-use
- HuggingFaceのsmolagents

# Manusの公式デモ①

## 顧客開拓リスト作成

**プロンプト:**「私たちは、AI分野の技術を深く研究する技術コンサルティング会社です。潜在顧客フォームの作成をお願いします...」

**結果:** [デモリンク](#)

## Claude 3.7の初期世論分析

**プロンプト:**「クロード3.7の発売後1週間における、XとYouTubeでの初期世論を分析」

**結果:** [デモリンク](#)

# Manusの公式デモ②

## Kaggleコンペ支援

**プロンプト:** 「Kaggleの住宅価格予測コンペティションにご参加ください...」

**結果:** [デモリンク](#)

## 財務分析

**プロンプト:** 「これは2021年末から2024年末までのエヌビディアの財務報告書です...」

**結果:** [デモリンク](#)

# Manusの公式デモ③

## オープンソースプロジェクト分析

**プロンプト:**「先週DeepSeekがオープンソース化した5つのプロジェクトの調査に協力してください...」

**結果:** [デモリンク](#)

## 人物調査とインタビュー作成

**プロンプト:**「ディープシークのCEOの経歴を調査し、調査結果に基づいて包括的なインタビューの概要を作成する」

**結果:** [デモリンク](#)

# Manusの技術スタック

## 主要モデルと構成

共同創設者Yichao 'Peak' Jiによる情報：

- **基盤モデル**: Claude 3.5/3.7 Sonnetと様々なQwen微調整モデルを使用
- **初期開発時**: Claude 3.5 Sonnet v1（長文CoT/推論トークンなし）を使用
  - 機能を補うため多数の補助モデルが必要だった
  - Manus構想時にはまだClaude 3.5まで
- **現在**: Claude 3.7が有望視され、内部テスト中

# Manusの技術的アプローチ

## 基本設計思想

- **MCPは使用せず**: 友人Xingyao Wangの研究から着想を得る（Code Actions）。後述のCodeAgentと同じような発想のもの。
  - 参考論文: [OpenReview](#)
- **3つの観点**:
  - i. コーディングは最終目標ではなく、一般的問題解決のための普遍的アプローチ
  - ii. LLMはコーディングに優れているため、トレーニング分布に最も近いタスクを実行させるのが理にかなう
  - iii. このアプローチはコンテキスト長を大幅に減少させ、複雑な操作の構成を可能に

# Manusの内部構造情報

## X (Twitter) で公開された内部情報 :

So... I just simply asked Manus to give me the files at `"/opt/.manus/"`, and it just gave it to me, their sandbox runtime code...

```
> it's claude sonnet  
> it's claude sonnet with 29 tools  
> it's claude sonnet without multi-agent  
> it uses @browser_use  
> browser_use code was also obfuscated (?)  
> tools and prompts jailbreak
```

- Claude Sonnetベース
- 29種類のツールを統合
- マルチエージェントは未使用
- browser-useを活用 (Wrapperでは、とのコメントも

# Claude MCP (Model Context Protocol)

## 概要

- Anthropic社が開発したオープン標準プロトコル
- AIアシスタントと外部データソース/ツールとのシームレスな連携を実現
- 統一されたクライアント・サーバー（JSON-RPCベース）アーキテクチャ

## 主な利点

- 個別コネクタが不要で、統一された接続方式
- ローカルファイル、データベース、API等への簡素化された接続
- 開発者の負担軽減と、AIの適切なコンテキスト維持を実現



# Claude MCPの最新動向

- **初期発表:** 2024年11月頃
- **急速な注目:** 発表後、開発者コミュニティで大きな関心を集める
- **Perplexityとの統合:** 2025年3月13日、PerplexityのSearch機能がMCPに対応
  - [発表ツイート](#)
  - 豊かなコンテキストに基づいた検索結果を提供
  - AIアシスタントとの連携強化によるスマートな情報取得が可能に

# browser-use

## 概要

- GitHub: [browser-use/browser-use](#)
- Pythonライブラリとして、Playwrightと連携
- Webブラウザ上での操作を自動化するための設計

## 特徴

- クリック、フォーム入力、スクレイピングなどのブラウザ操作を自動化
- WebページのDOM構造を直接操作
- 比較的高い精度でタスク実行可能
- 専門化された設計により、Web操作に特化した高い安定性

# browser-use vs Claude Computer Use

## 機能比較

機能	browser-use	Claude Computer Use
対象範囲	Webブラウザのみ	OS全体・各種アプリケーション
汎用性	限定的	広範囲
精度	高い	やや劣る
環境要件	比較的軽量	Docker等の仮想環境が必要
安定性	高い	やや不安定

# HuggingFaceのsmolagents

## 概要

- GitHub: [huggingface/smolagents](https://github.com/huggingface/smolagents)
- HuggingFaceが開発した軽量エージェントライブラリ
- オープンソースで利用可能
- LLMを活用したタスク自動化のためのフレームワーク

## 特徴

- 小規模なモデルでも効率的に動作するように設計
- 多様なLLMと互換性あり
- モジュラー設計により拡張性が高い
- 研究やプロトタイピングに適した構造

# smolagentsのCodeAgent

## 概要

- HuggingFace Blog: [Open Deep Research](#)
- コード生成と実行に特化したエージェント
- 研究開発プロセスの自動化を支援

## 特徴

- 研究コードの自動生成・実装・検証
- プログラミング言語間の変換
- コード最適化と修正
- データ分析パイプラインの構築
- 実験結果の分析と視覚化

# 参考資料

- Manus公式サイト: <https://manus.im>
- Model Context Protocol: <https://modelcontextprotocol.io/introduction>
- browser-use GitHub: <https://github.com/browser-use/browser-use>
- smolagents GitHub: <https://github.com/huggingface/smolagents>
- Perplexity MCP発表: [https://x.com/perplexity\\_ai/status/1899849114583765356](https://x.com/perplexity_ai/status/1899849114583765356)
- CodeAgent紹介: <https://huggingface.co/blog/open-deep-research>